



3月卒業パーティー
3月卒業式

12月卒業演奏会 (音楽専修)

4月初教プレオリゼミ

初等教育学科

1年間の主な行事

初教は、行事の時に大いに盛り上がるができます。
みんなで1つになれるよさがあります!

10月大学祭
初教25周年

5月オリゼミ

9月山キャン

5月スポーツデー

6月観察実習(小学校)

8月海キャン

新人の先生にインタビュー

今年度から初教に仲間入りされた橋村勝明先生に、私たち初教1年生が突撃インタビューをしました!

橋村勝明先生

インタビュー:かわらばん編集委員1年
223055 坂 真奈美
223066 瀬良ちひろ
223105 古川 文賀

橋村先生)以下 橋)
1年編集委員)以下 編)
Q1:なぜ小学校の教師になろうと思ったのですか? また、大学の教員になった理由は何ですか?
橋)まず、自分は2回浪人をして、最初は別の分野に興味を持っていましたけど、浪人中に読んだ灰谷健次郎さんの本にとっても感銘を受けまして、教育に興味を持ち始めました。そこから教育の原点は小学校だと私は思ったので、小学校の先生になろうと思いました。
編)灰谷さんのどんな本に感銘を受けたのですか?
橋)特に「わたしの出会った子どもたち」です。この本はとってもよかったのでよかったです。読んでみてください。それで、大学の教員についてですが……まあ簡単に言いますと、もっと言葉について勉強したくなったからです。両立しようと思っていたんですが、やはりどちらとも中途半端になってしまうので、どちらかを選択すると……勉強をやりたいという気持ちのほうが大きくなってしまったので、そのまま大学院に行き、自然と大学の教員になりました。
Q2:古典語に興味を持った経緯はなんですか?
橋)そうですねまず自分は「だから」とか「しかし」といったような接続語に興味を持ったんです。これらの言葉を使っているのはこんな感じの日本人が書いた漢文を読んでいます。[写真1]これは丁度織田信長の本能寺の変あたりだね。これを読んでいって、同じ漢字がどのように、またどのくらい使われているかなどを調べているんですよ。だいたいみんな内容を研究している人は多いですが、言葉について調べているのは、僕ぐらいですかね?
編)えーそうなんですか!? それはすごいですね。先生は昔から国語が好きだったんですか?

橋)いやそうでもないよ。昔は数学とか理科が好きだったし、得意だったなあー。
編)ええ!! 今と正反対じゃないですか!
橋)実はね、そーでもないんだよ。僕の授業ではね、電卓を使って読点かどのくらい使われているかの比率を出したりするんですよ。読点って人によって使われ方が違うんで、同じ文章でも比率が違ったりして面白いんですよ。ね? 意外と関係あるんですよ。
編)そうですね。国語って私が思っていた以上に奥が深いですね。
Q3:初教の第一印象はなんですか?
橋)第一印象!? うーん……。しいて言うなら、「よく走る」かな? この前のオリゼミのミニ運動会とか、とにかく走ってたよね(笑)僕は元々運動が大の苦手なんで、すごいなって思いながら見ていました。
編)えー苦手なんですか? 結構得意そうなのに……。今度のスポーツデーとか出ないんですか?
橋)でませんよ!!!! こっそり応援しています。
Q4:初教の学生にはどんな先生、教師になってもらいたいですか?
橋)そうですね……。僕は実習に行く学生にはいつも言っているんですが、「子どもの視線をちゃんと読み取る先生」になれるようになってもらいたいですね。小学校ぐらいの子もって自分の本音をきちんと言えない子が多いんですよ。例えば、自分は本当は悪くないのに先生に叱られていて……そういう時の子どもは目で訴えるんですよ。だから、子どもの視線を読み取るのはとっても大切なことなんです。君たちも先生を目指しているんですよね? この言葉よく覚えていて欲しいな。っていっても、実は灰谷さんの受け売りなんだけども(笑)
編)ぜひ心に銘記させてもらいます!!
Q5:初教の学生に一言お願いします。
橋)そうですね。とにかくいろんな体験をしてもらいたいな。やっぱり、先生になるためにはいろんな経験をして子どもたちに教えてあげてほしいな。僕は、学生時代の春休みにインドとタイに行ってきたんだ。今は国情が変わって危険だから、とてもおススメはしないけど、外国から日本を見るときまた違った日本が見えてくるから、学生の間にそういう体験しておくといいよ。
編)わかりました!! 今回はお忙しい中ありがとうございました。



[写真1]

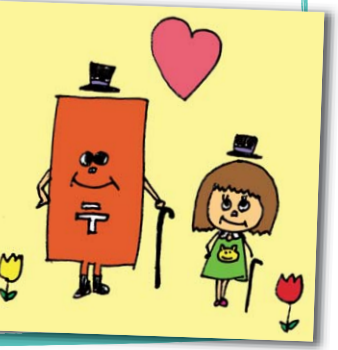


編集後記

本号から同学科長が編集委員に参加されました。第6号以来の復帰で、より強力となったスタッフのもと学科関連の情報を楽しく伝えたいと思います。私もイラストのように素敵(?)になったので頑張るぞ〜! (MK)

おたよりください!

次の要領で原稿をお寄せ下さい。掲載分につきましては、薄謝進呈。
○文量 800字程度 ○写真 1~2枚
○送り先 〒731-0295 広島市安佐北区可部東 1-2-1 広島文教女子大学 川西正行あて または mkawanishi@h-bunkyo.ac.jp



卒業生からのたより

- 16期生** 長岡 涼子【島根県】
書店に勤めて4年が経ちました。なかなか1人前とはいきませんが、頑張っています。
- 17期生** 藤城 千恵(旧姓:信末)【広島県】
去年の5月に女の子を出産し、今年の6月から仕事に復帰しています。子どもの成長の早さに日々驚かされています。
- 19期生** 大場 絵美(旧姓:草場)【東京都】
2歳になる息子の育児中です。東京は幼稚園の激戦区なので、幼稚園めぐりをしています。いろんなことが分かり、楽しい毎日です。
- 20期生** 梶原 亜紀【愛媛県】
私は3年目の年になりました。2度目の3年生担任で、やり易さも前回とは違うことをしようと考えながら過ごしています。
- 21期生** 福田由希子(旧姓:畑本)【広島県】
2年続けて0歳児の担任をしています。子ども達の笑顔は最高です! 文教からのお便りを見るたびに、大学で出会った皆さんの友達のことを思い出しています。そしてお世話になった先生方にも会いに行きたいと感じています。
- 22期生** 小鉢 昌子【長崎県】
児童養護施設で働きだし、4年目になりました。子どもたちと毎日、泣いて笑って過ごしています。やりがいのある仕事です。いつか広島に行きたいと思いながら、なかなか実現できずにいます。
- 23期生** 古谷 明希【愛媛県】
今年度より、新規採用教員として4年生29名の担任をしています。地元南予を離れ、東予での生活(担任)にも慣れ、毎日忙しい中でも子どもたちと楽しく過ごしています。「教師とは99%の苦しみと、1%の喜びである」を実感中です。
- 24期生** 兼田 侑里【広島県】
4歳児クラス24名の担任をしています。2年目ですが、まだまだ手さぐり状態です。今、運動会の練習を子どもと一緒に頑張っています!!
- 25期生** 谷 瞳【熊本県】
素敵なかわらばん、ありがとうございます。楽しくなつかしく読ませていただきました。私は今、地元の小学校で2年生の担任をさせてもらっています。分らないことだらけですが、周りの先生方に助けられ、感謝・学びの日々です。